さつまいも

サツマイモに含まれるビタミンCは、でんぷんに守られて加熱しても壊れにくいそうです。豊富に含まれているカリウムは、塩分を排泄し高血圧に効果があります。



作型

気温が十分上がってから植え付ける。マルチ栽培すると生育を促し、早く収穫 (9月から) できる。排水の悪いところへの作付けは避ける。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品	種	名
マルチ栽培					\triangle		-						鳴門金時·	高系14号·	・ベニアズマ

△:植え付け ■■:収穫

畑の準備・定植

土づくり a当たり

肥 100kg セルカ(有機石灰) 10kg 植え付け 1ヶ月前に土と良く混合

元 肥 a当たり

油 粕 5~7 kg BMようりん 4 kg 畝立時施用

1条植え:畝幅70~80cm

株間:30~40cm

(植え付け時は葉は埋めない)

• 雑草防止に黒マルチを利用しても良い

中耕・土寄せ

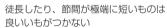
• 6月中下旬頃に畝間を軽く株元に土寄せする。(いもの肥大に効果がある)

■苗の準備

開いた葉が 5 枚以上(重さ15g以上) 苗とり直後の植え付けは、強い日差しや風で弱ってしまうので注意する









節間がやや詰まり、充 実している苗がよい

〈苗の植え方〉



〈水平植え〉 いもの数…多い 肥 大…遅い





〈直立ざし〉 いもの数…最も少ない 肥 大…最も早い

防除

病害虫名	耕種的防除	薬 剤 防 除
コガネムシ類	未熟有機物の施用は避ける	ダイアジノン粒剤 5 400~600g/a 3日前まで5回以内
イ モ コ ガ アブラムシ類	ふ化直後の幼虫を除去する	スミチオン乳剤 1,000倍 7日前まで5回以内

収穫

• 4~5日晴天が続いた日を選んで、いもに傷がつかないように掘りとる。

貯蔵

- 温度13℃、湿度80~90%が理想の条件である。
- 部屋の中で貯蔵する場合は、モミガラを入れた発泡スチロール箱などに入れ、ふたには空気穴を開けておく。モミガラがない場合は一つひとつ新聞紙にくるんで入れる。

雑草図鑑 オオイヌノフグリ・スイバ 5 月の農作業



オオイヌノフグリ

畑、路傍、畦畔に多く生育し、畑の周縁部や道端 によく見られる。寒さに強いが日当たりのよい立地 に多い。種子で繁殖する冬生一年草本。10月上旬頃 から出芽を始める。出芽は秋から冬にかけて多く、 翌春から夏にかけても続く。1~6月頃に開花結実す る。全体に軟毛を散生し、茎は基部で枝分かれして 地上を這い、長さ10~35cmになる。 茎上部の葉腋 に1個ずつ瑠璃色の花をつける。子葉は広卵形で先 はやや円く無毛で長柄があり、胚軸には短毛がある。 葉柄は長く、葉縁、表裏とも白毛がある。



作物の作付け前に出芽した固体は耕起で防除す る。中耕の効果も高い。除草剤で容易に防除できる。 生育が進むと引き抜きにくくなるため、小さいうち に防除する。作物の牛育後に出芽した固体は早春に 手取りを行う。後期に出芽した固体を放置すると、 四方に茎が広がり、除草に労力を要する。



瑠璃色の花をつけるオオイヌノフク





フグリ(芽生え期)

スイバ

里山、草地、堤防や路傍などに、よく似た仲間 (同属) のギシギシとともにごく普通に見られる。 草丈50cm~1mにもなる雌雄異株の大型多年草。茎 を直立させて上部で分枝し、夏から初秋に小さな花 (果実) を円周状に多くつけた細長い円錐塔状の花 (果) 穂を伸ばす。雌株の花穂が、赤っぽく熟すの が特徴のひとつで、若い葉や茎は紫紅色を帯びる。 葉は、根生葉(地際の葉)には明らかな柄があるが、 茎の上部の茎葉は茎を抱く。花穂に葉が付くのも特 徴のひとつ。葉の長さは10cm前後、幅は3cm前後 で、葉の縁は波打つ。

防除のポイント

ギシギシ類の根は太く地下深くまで伸びているた め人手で掘り取るのには労力を要するが、トラク ターによる耕起が可能な場所では、丁寧な耕起を短 期間に複数回行うことで栄養体からの発生を効率的 に防ぐことができる。一方、刈取には強く、何度で も再生してくるため頻繁な耕起が行えない場所では 除草剤を用いた防除が有効となる。



花穂を伸ばしたスイバ





スイバ(ロゼット)

スイバ(生育中期)